

令和 6 年 救助統計

とかち広域消防事務組合

凡 例

- 1 本書は、令和6年中に発生した救助事故全般について、救急事故等報告要領に基づいて算出したものを統計資料としてまとめたものです。
- 2 数字の単位未満は四捨五入しているため、総数と内訳が一致しない場合があります。
- 3 表中で使用した符号は下記のとおりです。
「－」・・・該当数字又は集計値のないもの
「※」・・・注釈
「▲」・・・マイナス表示

目 次

1 救助活動の範囲・・・・・・・・・・・・・・・・	1 ページ
2 救助活動状況の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1～2 ページ
3 事故種別ごとの救助出動状況等・・・・・・・・	2～5 ページ
4 救助出動人員及び救助活動人員・・・・・・・・	6 ページ
5 救助出動車両・・・・・・・・・・・・・・・・	7 ページ
別表 十勝管内消防署別救助出動件数と救助活動件数	8 ページ

1 救助活動の範囲

救助活動は、次のいずれにも該当する火災、災害又は事故により発生したものです。

- (1) 要救助者の存在が予想され、その生命又は身体に現実の危険が及んでいるものであること。
- (2) 緊急に被害者を人力、機械力、器具等を用いて安全な場所に救出する必要があるものであること。
- (3) 消防機関が行ったものであること。ただし、直接人命救助を伴わない警戒活動・危険物排除活動等及び死体捜索は対象から除外する。

※ 「火災」の場合における「救助出動件数」は、出動件数そのものではなく、出動して実際に救助活動を実施した場合のみ救助出動件数として計上しています。この場合、救助出動件数と救助活動件数は同数です。また、火災時に救助隊員の誘導に従って自力で脱出した者の数は「救助人員」には含まれていません。

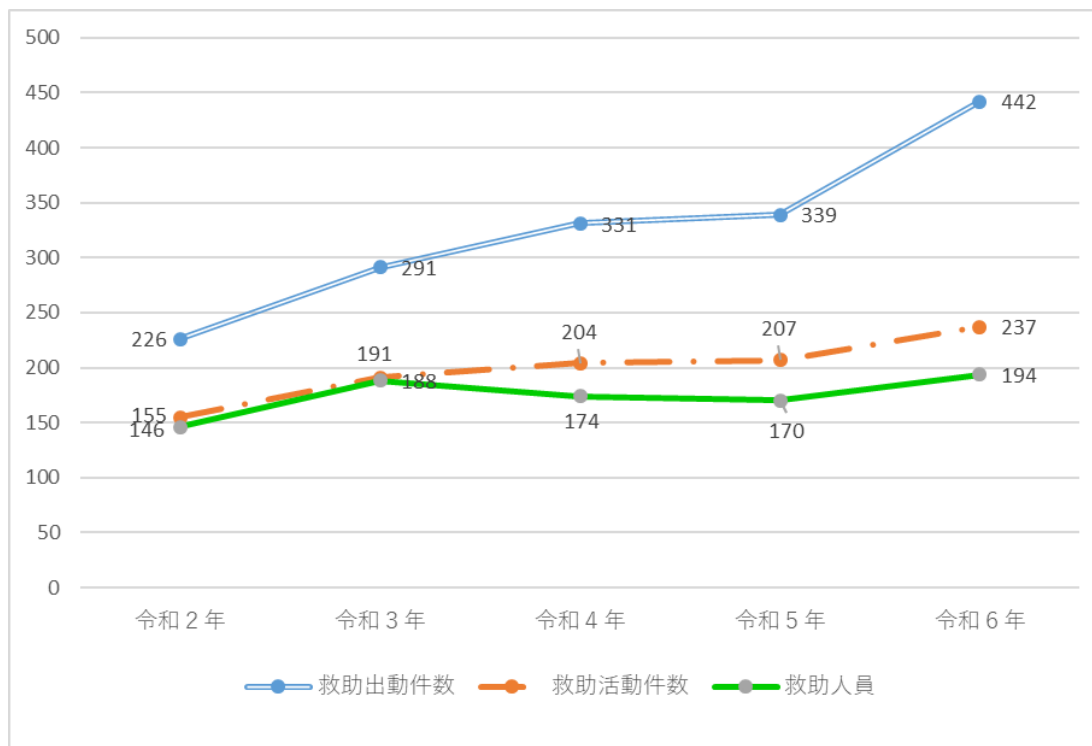
2 救助活動状況の概要

令和6年中における十勝の救助活動状況は、救助出動件数442件（対前年比103件増、30.4％増）、救助活動件数237件（対前年比30件増、14.5％増）、救助人員194人（対前年比24人増、14.1％増）であり、前年と比較して救助出動件数、救助活動件数及び救助人員が増加しています。（表1、図1参照）

表1 救助出動・救助活動件数及び救助人員の推移

区分 年	救助出動件数			救助活動件数			救助人員		
	件数	対前年比		件数	対前年比		人員	対前年比	
		件数	増減率(%)		件数	増減率(%)		件数	増減率(%)
令和2年	226	226	▲23.9	155	155	▲11.4	146	146	▲34.2
令和3年	291	65	28.8	191	36	23.2	188	42	28.8
令和4年	331	40	13.7	204	13	6.8	174	▲14	▲7.4
令和5年	339	8	2.4	207	3	1.5	170	▲4	▲2.3
令和6年	442	103	30.4	237	30	14.5	194	24	14.1

図1 救助出動・救助活動件数及び救助人員の推移



3 事故種別ごとの救助出動状況等

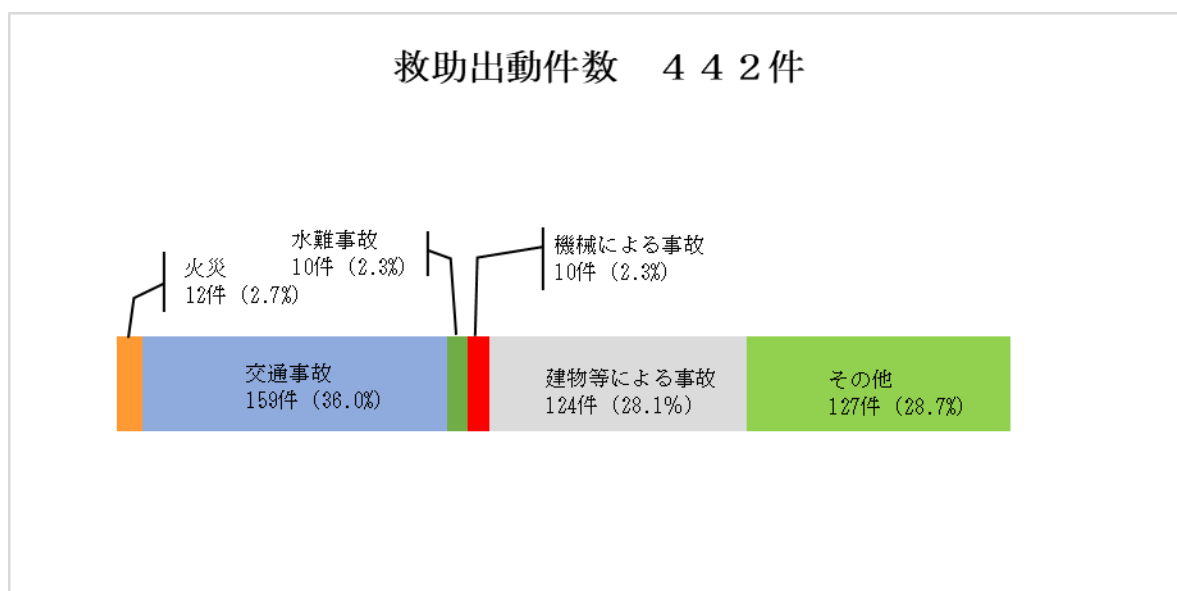
救助出動件数を事故種別ごとにみると、「風水害等自然災害事故」が0件（対前年比1件減）、「ガス及び酸欠事故」が0件（対前年比5件減）と減少している一方で、「火災」が12件（対前年比4件増、50.0%増）、「交通事故」が159件（対前年比61件増、62.2%増）、「機械による事故」が10件（対前年比3件増、42.9%増）、「その他」が127件（対前年比41件増、47.7%増）と前年から増加しています。（表2、図2参照）

表2 事故種別ごとの救助出動件数対前年比

事故種別	令和6年		令和5年		対前年比	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	増減率(%)
火災	12	2.7	8	2.4	4	50.0
交通事故	159	36.0	98	28.9	61	62.2
水難事故	10	2.3	10	2.9	0	0.0
風水害等自然災害事故	0	0.0	1	0.3	▲1	-
機械による事故	10	2.3	7	2.1	3	42.9
建物等による事故	124	28.1	124	36.6	0	0.0
ガス及び酸欠事故	0	0.0	5	1.5	▲5	-
破裂事故	0	0.0	0	0.0	0	-
その他	127	28.7	86	25.4	41	47.7
合計	442	100	339	100	103	30.4

- ※ 1 割合の算出にあたっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計が 100%にならない場合があります。
- 2 事故種別は、次により区分しています。
- (1) 「火災」とは、火災現場において、直接火災に起因して生じた事故。
 - (2) 「交通事故」とは、すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故。
 - (3) 「水難事故」とは、水泳中の溺者又は水中転落等による事故。
 - (4) 「風水害等自然災害事故」とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害事故。
 - (5) 「機械による事故」とは、エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアーその他の建設機械、工作機械等による事故。
 - (6) 「建物等による事故」とは、建物、門、柵、へい等の建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等。
 - (7) 「ガス及び酸欠事故」とは、一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等。
 - (8) 「破裂事故」とは、直接火災に起因して生じた事故以外のボイラー、ポンプ等の物理的破裂による事故をいう。
 - (9) 「その他」とは、前記に掲げる事故等（(1)～(8)）以外の事故等で、消防機関による救助を必要とした事故。

図 2 救助出動件数



※ 表 2 注釈参照

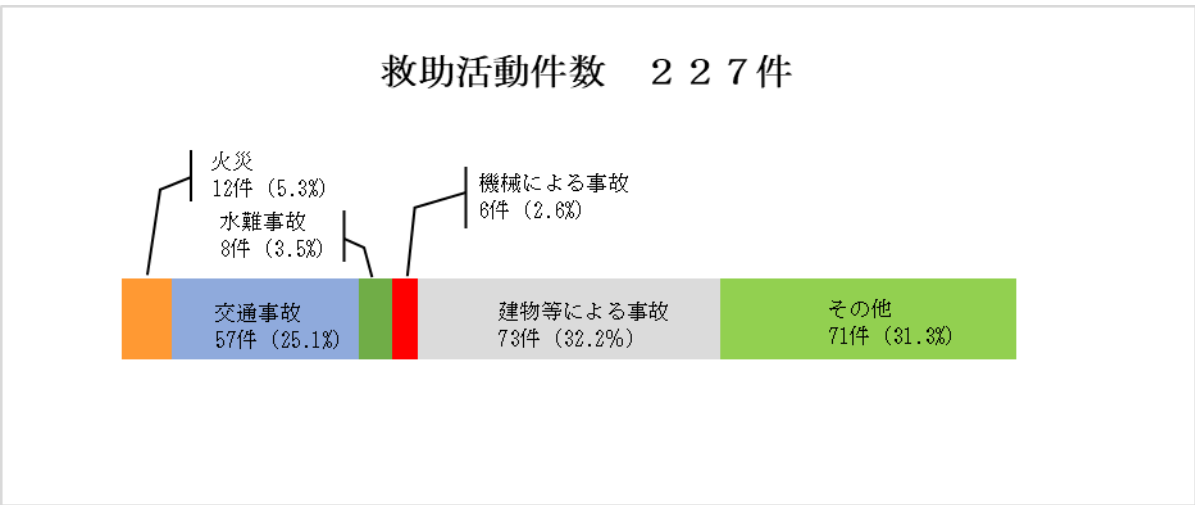
救助活動件数を事故種別ごとにみると、「交通事故」が 57 件（対前年比 1 件減、1.7%減）、「建物等による事故」が 73 件（対前年比 12 件減、14.1%減）、「ガス及び酸欠事故」が 0 件（対前年比 5 件減）と減少する一方で、「火災」が 12 件（対前年比 4 件増、50.0%増）、「水難事故」が 8 件（対前年比 2 件増、33.3%増）、「その他」が 71 件（前年対比 32 件増、82.1%増）と前年から増加しています。（表 3、図 3 参照）

表 3 事故種別ごとの救助活動件数対前年比

事故種別	令和 6 年		令和 5 年		対前年比	
	件数	構成比（%）	件数	構成比（%）	件数	増減率（%）
火災	12	5.3	8	3.9	4	50.0
交通事故	57	25.1	58	28.0	▲ 1	▲ 1.7
水難事故	8	3.5	6	2.9	2	33.3
風水害等自然災害事故	0	0.0	0	0.0	0	-
機械による事故	6	2.6	6	2.9	0	0.0
建物等による事故	73	32.2	85	41.1	▲ 12	▲ 14.1
ガス及び酸欠事故	0	0.0	5	2.4	▲ 5	-
破裂事故	0	0.0	0	0.0	0	-
その他	71	31.3	39	18.8	32	82.1
合計	227	100	207	100	20	9.7

※ 表 2 注釈参照

図 3 救助活動件数



※ 表 2 注釈参照

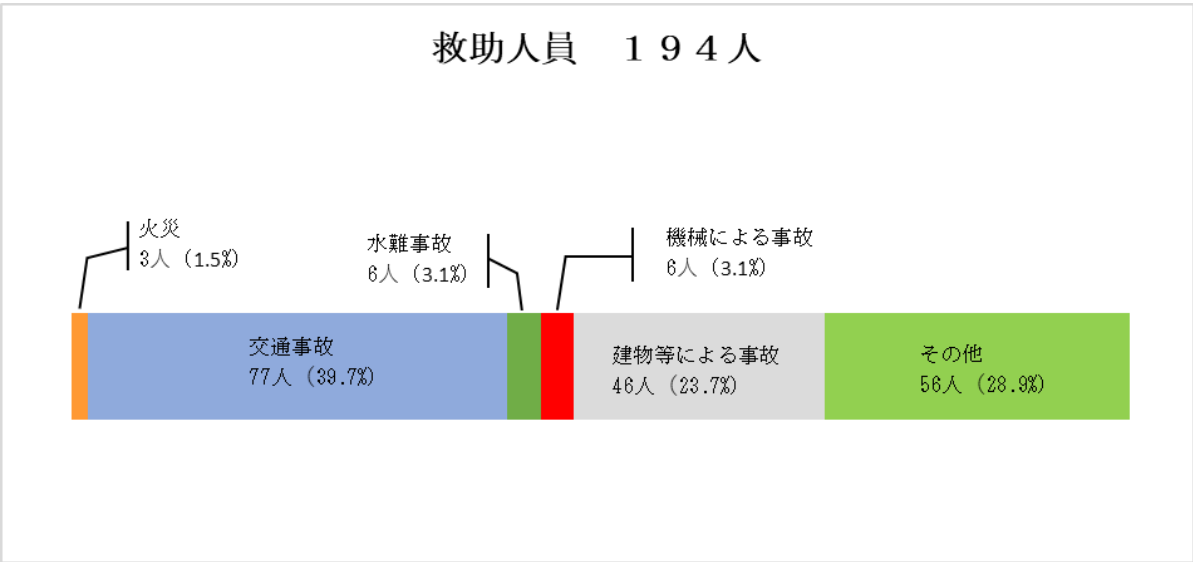
救助人員を事故種別ごとにみると、「建物等による事故」が46人（対前年比8人減、14.8%減）、「ガス及び酸欠事故」が0人（前年対比4人減）と減少している一方で、「交通事故」が77人（前年対比6人増、8.5%増）、「水難事故」が6人（前年対比1人増、20.0%増）、「機械による事故」が6人（前年対比2人増、50.0%増）、「その他」が56人（前年対比27人増、93.1%増）と前年から増加しています。（表4、図4参照）

表4 事故種別ごとの救助人員対前年比

事故種別	令和6年		令和5年		対前年比	
	救助人員	構成比（%）	救助人員	構成比（%）	救助人員	増減率（%）
火災	3	1.5	3	1.8	0	0.0
交通事故	77	39.7	71	41.8	6	8.5
水難事故	6	3.1	5	2.9	1	20.0
風水害等自然災害事故	0	0.0	0	0.0	0	-
機械による事故	6	3.1	4	2.4	2	50.0
建物等による事故	46	23.7	54	31.8	▲8	▲14.8
ガス及び酸欠事故	0	0.0	4	2.4	▲4	-
破裂事故	0	0.0	0	0.0	0	-
その他	56	28.9	29	17.1	27	93.1
合計	194	100	170	100	24	14.1

※ 表2注釈参照

図4 救助人員（救助活動により救助した人員）



※ 表2注釈参照

4 救助出動人員及び救助活動人員

救助出動人員の合計は 5,543 人であり、事故種別ごとの出動人員を多い順にみると「交通事故」が 1,919 人（34.6%）、「建物等による事故」が 1,517 人（27.4%）となっています。

救助活動人員の合計は 1,484 人であり、事故種別ごとの活動人員を多い順にみると「交通事故」が 460 人（31.0%）、「その他」が 407 人（27.4%）となっています。（表 5 参照）

表 5 救助出動人員及び救助活動人員

区分 事故種別	救助出動人員					救助活動人員				
	令和 6 年		令和 5 年		増減	令和 6 年		令和 5 年		増減
火災	491人	8.9%	307人	5.5%	184人	114人	7.7%	53人	3.6%	61人
交通事故	1,919人	34.6%	1,173人	21.2%	746人	460人	31.0%	456人	30.7%	4人
水難事故	138人	2.5%	146人	2.6%	▲8人	76人	5.1%	38人	2.6%	38人
風水害等自然災害事故	0人	0.0%	16人	0.3%	▲16人	0人	0.0%	0人	0.0%	0人
機械による事故	100人	1.8%	97人	1.7%	3人	43人	2.9%	56人	3.8%	▲13人
建物等による事故	1,517人	27.4%	1,449人	26.1%	68人	384人	25.9%	473人	31.9%	▲89人
ガス及び酸欠事故	0人	0.0%	62人	1.1%	▲62人	0人	0.0%	26人	1.8%	▲26人
破裂事故	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0人	0.0%	0人	0.0%	0人
その他	1,378人	24.9%	1,033人	18.6%	345人	407人	27.4%	223人	15.0%	184人
合計	5,543人	100%	4,283人	100%	1,260人	1,484人	100%	1,325人	100%	159人

※ 表 2 注釈参照

5 救助出動車両

救助出動した車両の延べ台数は 1,558 台であり、救急自動車 464 台、消防ポンプ自動車 323 台、救助工作車 276 台となっています。

また、事故種別ごとにみると「交通事故」が 561 台、「建物等による事故」が 407 台となっています。(表 6 参照)

表 6 事故種別ごとの出動車両

(台)

事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害 事故	機械によ る事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他	合計
救助工作車	12	94	5	0	3	97	0	0	65	276
消防ポンプ自動車	68	98	10	0	5	70	0	0	72	323
はしご車	7	0	0	0	0	1	0	0	0	8
化学車	19	55	1	0	4	35	0	0	51	165
指揮車・指令車	12	80	8	0	5	71	0	0	65	241
救急自動車	17	206	11	0	10	124	0	0	96	464
その他	6	18	6	0	0	8	0	0	18	56
消防団車両	3	10	2	0	2	1	0	0	7	25
合計	144	561	43	0	29	407	0	0	374	1,558

別表 十勝管内消防署別救助出動件数と救助活動件数

	救助出動件数				救助活動件数			
	令和 6 年	令和 5 年	増減	増減率	令和 6 年	令和 5 年	増減	増減率
帯広消防署	224	171	53	31.0%	132	110	22	20.0%
音更消防署	43	30	13	43.3%	14	20	▲ 6	▲ 30.0%
士幌消防署	6	12	▲ 6	▲ 50.0%	3	5	▲ 2	▲ 40.0%
上士幌消防署	8	7	1	14.3%	5	5	0	0.0%
鹿追消防署	6	2	4	200.0%	3	1	2	200.0%
新得消防署	7	10	▲ 3	▲ 30.0%	3	8	▲ 5	▲ 62.5%
清水消防署	18	16	2	12.5%	8	7	1	14.3%
芽室消防署	21	16	5	31.3%	13	13	0	0.0%
中札内消防署	5	0	5	-	2	0	2	-
更別消防署	5	3	2	66.7%	1	3	▲ 2	▲ 66.7%
大樹消防署	10	3	7	233.3%	8	1	7	700.0%
広尾消防署	5	13	▲ 8	▲ 61.5%	3	5	▲ 2	▲ 40.0%
幕別消防署	30	18	12	66.7%	18	10	8	80.0%
池田消防署	11	9	2	22.2%	7	6	1	16.7%
豊頃消防署	6	5	1	20.0%	2	3	▲ 1	▲ 33.3%
本別消防署	3	3	0	0.0%	2	1	1	100.0%
足寄消防署	19	11	8	72.7%	8	6	2	33.3%
陸別消防署	9	3	6	200.0%	9	3	6	200.0%
浦幌消防署	6	7	▲ 1	▲ 14.3%	2	0	2	-
十勝総数	442	339	103	30.4%	243	207	36	17.4%

作成担当

とかち広域消防局消防救助課

令和8年3月作成